

■調査の目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

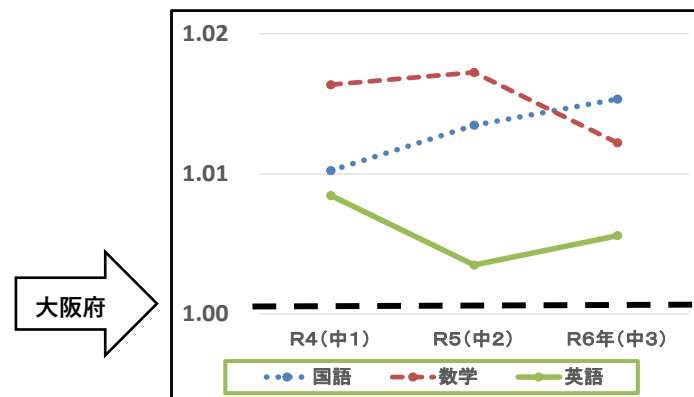
■調査の概要

- 「大阪府」とは大阪・公立学校の結果を表しています。
- 実施校数及び実施生徒数・・・15校
中学校3年生及び義務教育学校9年(1792名)
- 学力に関する調査・・・国語、社会、数学、理科A、理科B、理科C、英語
※理科は学校毎の選択制ですが、13校が選択した理科Cの結果を掲載しています。
- 生徒に対するアンケート・・・11問

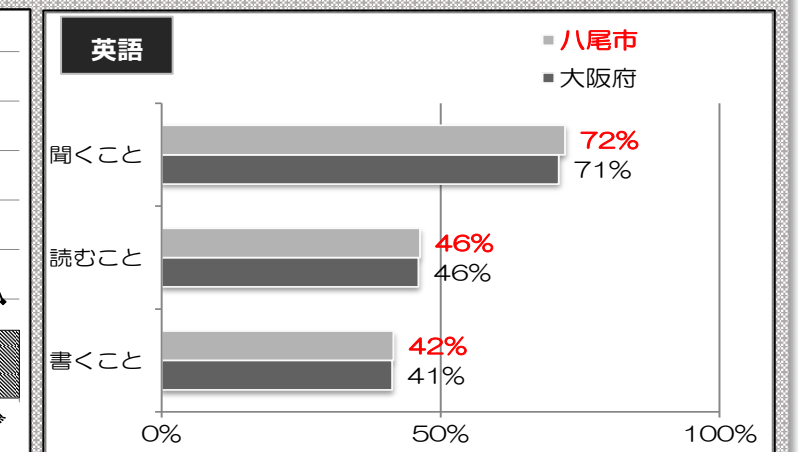
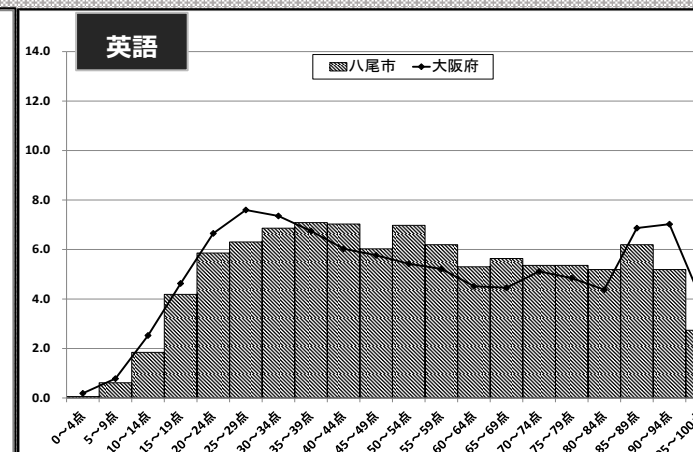
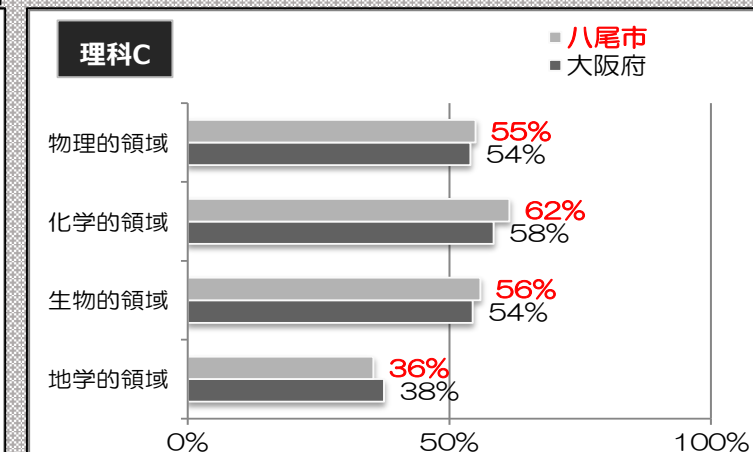
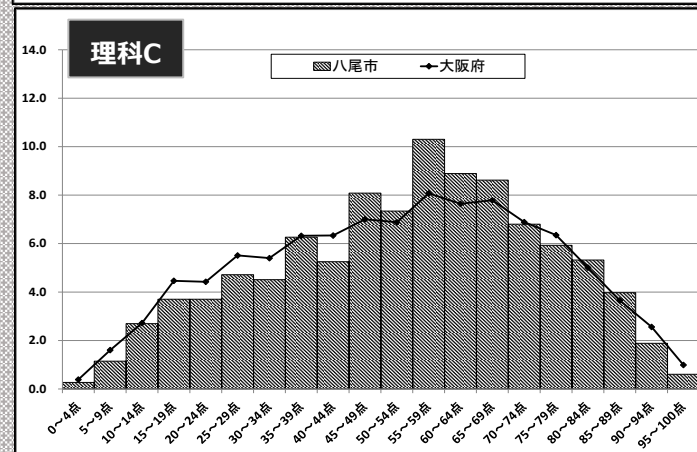
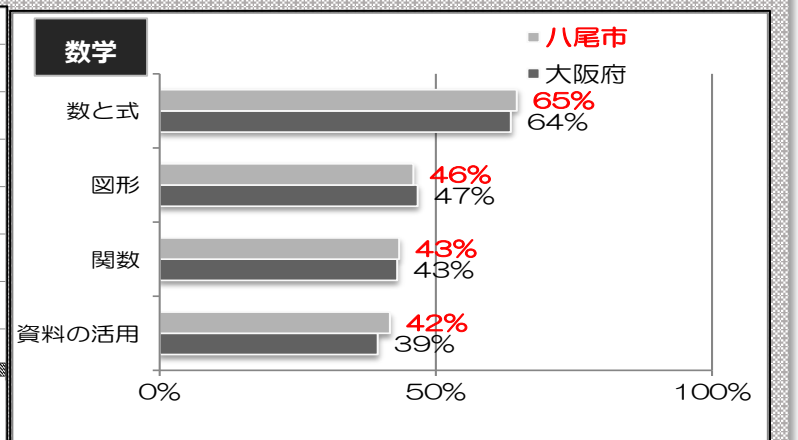
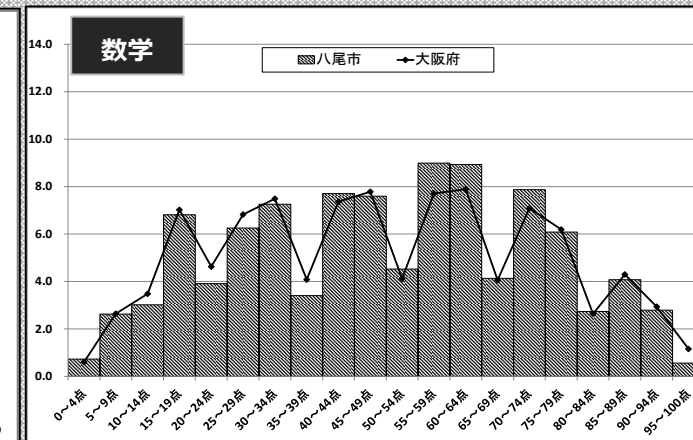
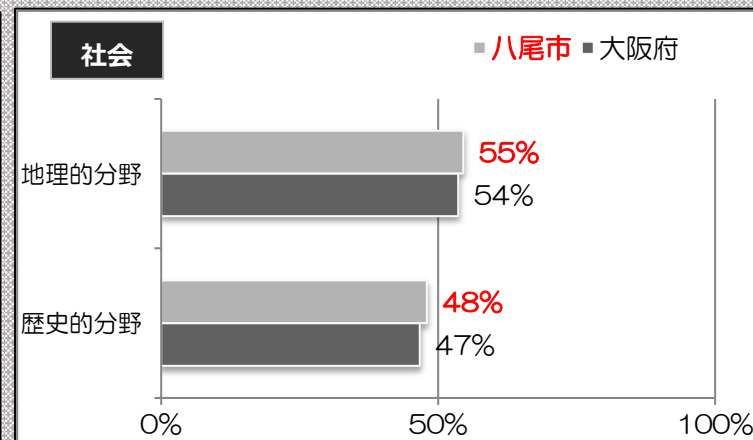
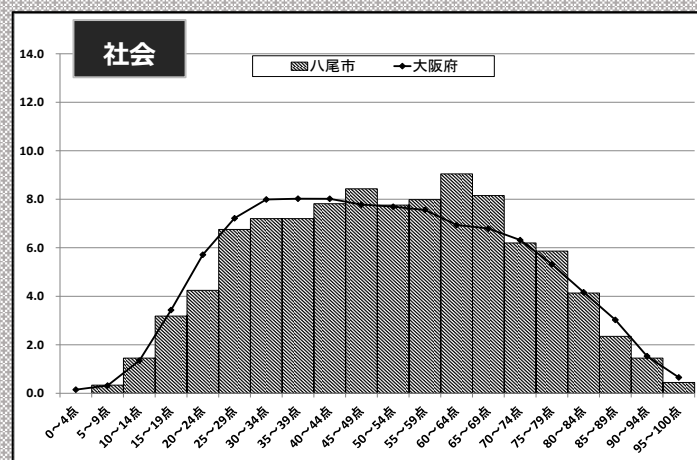
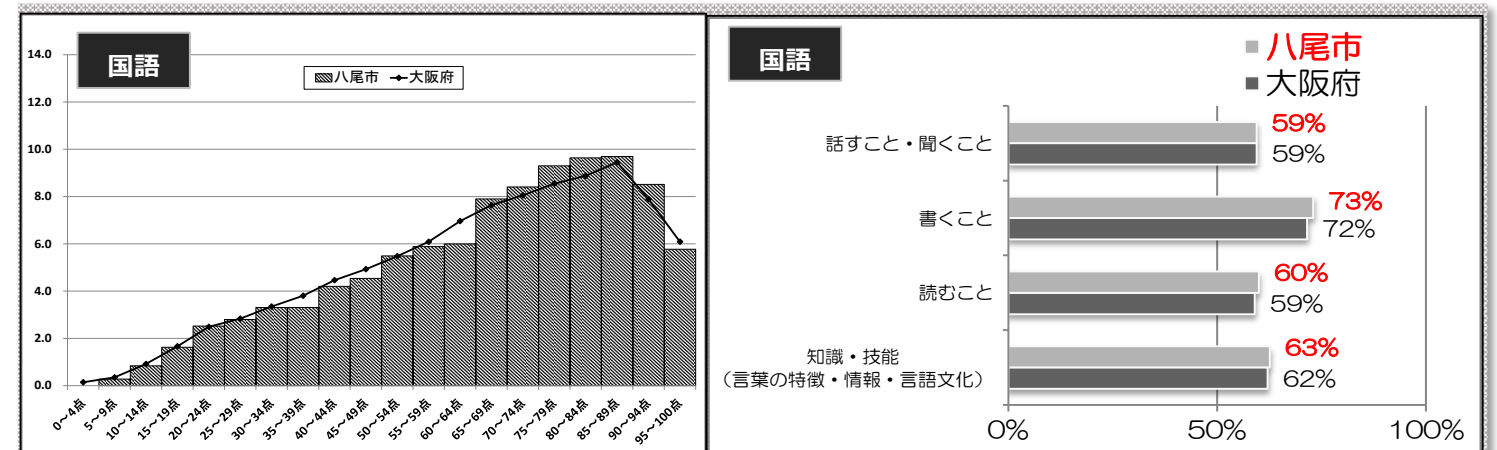
1. 各教科の平均点と対府比

	八尾市	大阪府	対府比
国語	66.2	65.2	1.02
数学	49.7	49.1	1.01
英語	53.9	53.6	1.01
社会	51.5	50.4	1.02
理科C	53.5	52.3	1.02

2. 同一集団3年間の経年変化

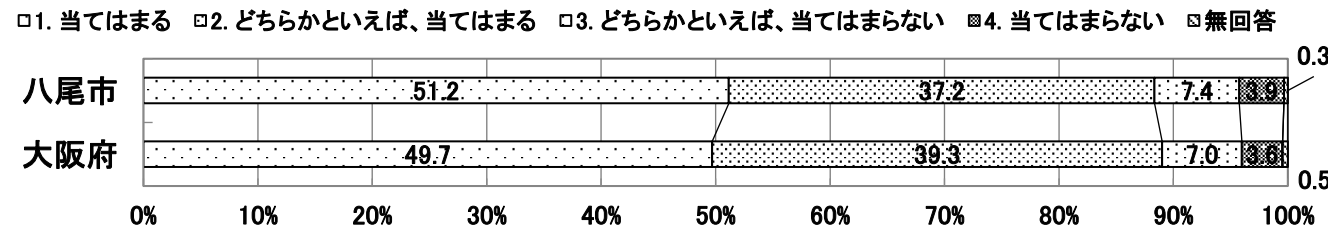


3. 教科別の結果【得点分布グラフ・区分別得点率】

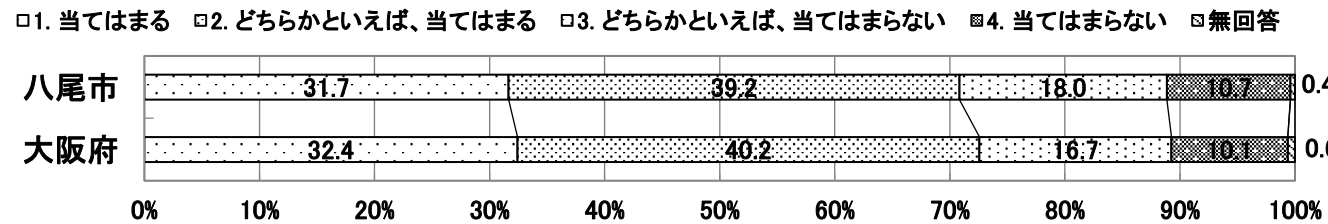


4. 生徒アンケート結果

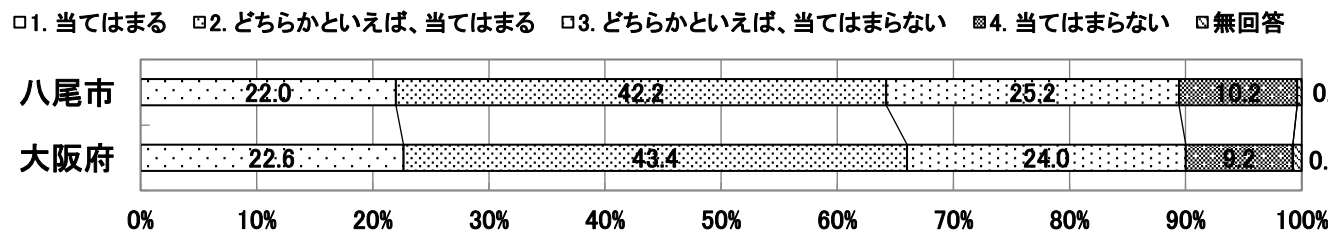
■ 1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



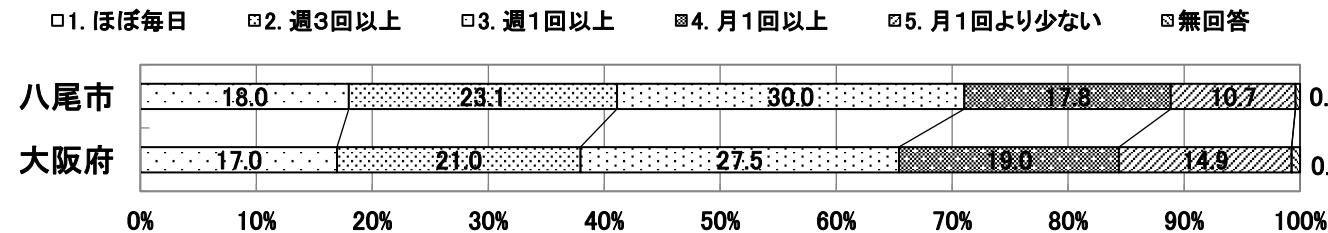
■ 2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



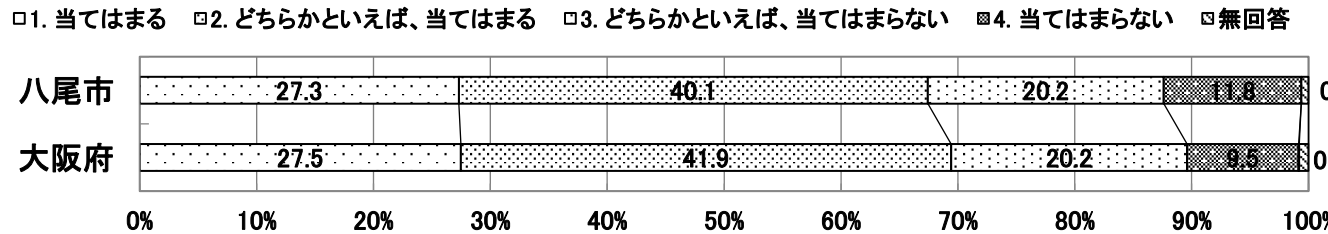
■ 3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



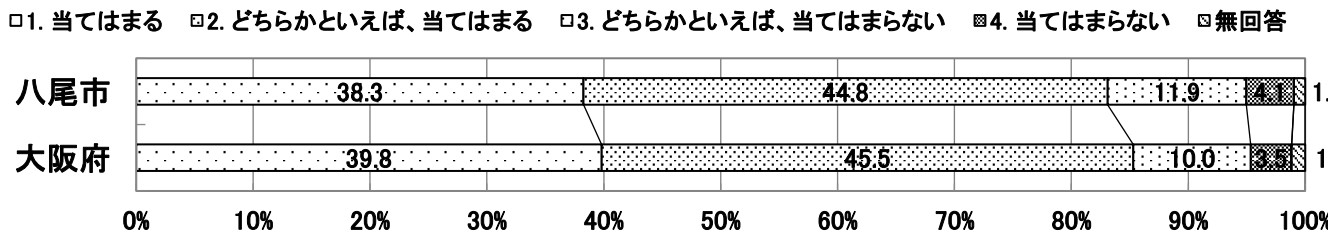
■ 4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



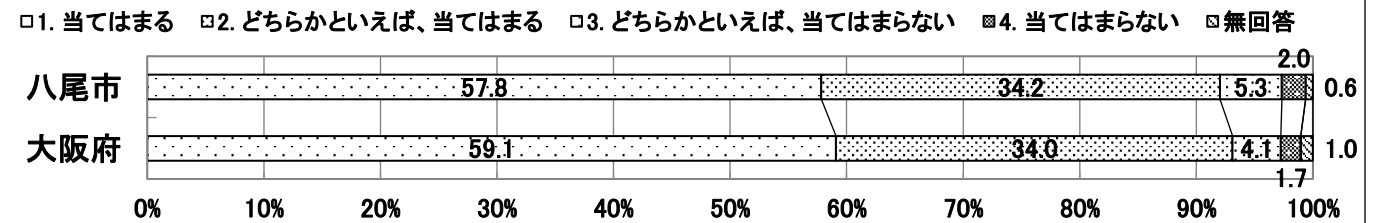
■ 5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



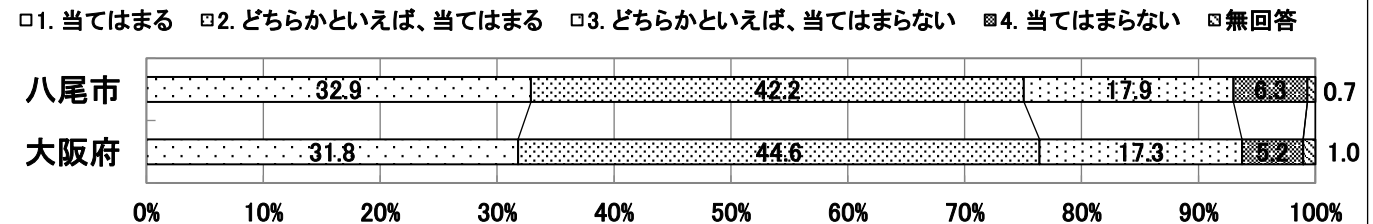
■ 6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



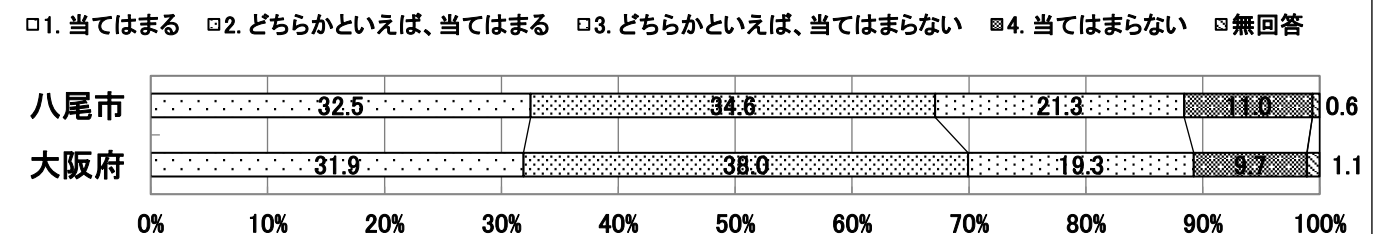
■ 7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



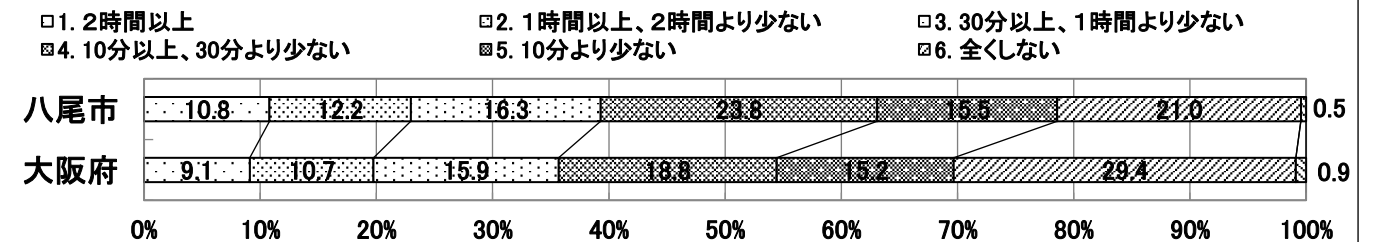
■ 8. 難しいことがあっても、あきらめない。



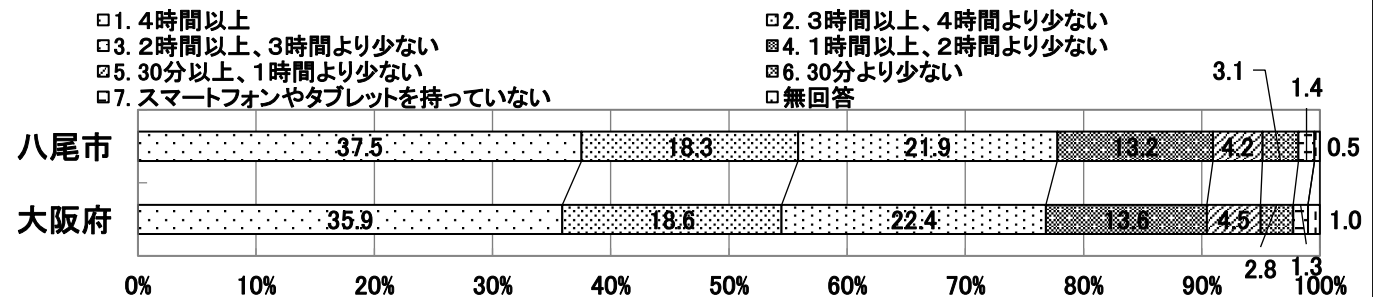
■ 9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



■ 10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



■ 11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



、【調査結果より】

- ・本調査において、本市はすべての教科で府の平均をわずかに上回りました。
- ・本市では、1日平均の読書時間で府の平均を上回っている一方で、学習以外にスマートフォンやタブレットを使用する時間も府の平均を上回っています。
- ・今回の分析結果をもとに、復習に役立つ教材の活用や、各学校においてもこれまでの学力向上の取組みの成果を踏まえ、「指導と評価の一体化」「言語活動の充実」「情報活用能力の育成」の取組みを推進し、「主体的・対話的で深い学び」へ発展させるような指導の改善につなげてまいります。また、学力の定着に向けては、学校における学習指導に加え、家庭での望ましい生活習慣の確立とともに家庭学習習慣を確立することも必要です。今後も、保護者や地域の皆様のご協力・ご支援をお願いします。